

親子の学び応援講座



〈 目 的 〉 本県における家庭教育の推進に向けて、会津若松市立第四中学校保護者会を対象に講座を行い、親子の学び・家庭での実践活動を支援する。

会津若松市立第四中学校 保護者会における講座

◆と き 令和7年7月11日（金）

◆と ころ 会津若松市立第四中学校 体育館

◆参加者 530名（保護者15名、教職員30名、生徒485名）

◆講 演 演題：「かけがえのない大切な自分を生きていますか」
～「聞く」「語る」、心を通わすコミュニケーション～

講師：親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子 氏

1＜テーマ設定の理由及び実践活動のねらい＞

生徒の学校生活や保護者との家庭生活がよりよいものとなるよう、コミュニケーションのあり方に関する講演を通して、豊かな人間観関係を築くスキル向上を図る。

2＜内 容＞

- ・ 自分も相手もかけがえのない大切な存在であることを再認識するとともに、互いが心地よく付き合っていくための望ましいコミュニケーションのあり方を学ぶ講演だった。身近な場面設定での生徒による寸劇を通して、具体的にどうすればよいか、自分事として考える機会となった。

参加者の感想から



- ・ 忙しさを言い訳に、子どもの話をきちんと聞いていなかったと反省しました。子どもの白いボールを受け止めて、子ども自身で自分のことが決められるようにサポートしていきたいと思いました。
- ・ 子どもとのコミュニケーションでは、どうしてもお互いに感情的になってしまいましたが、尊重しあえる人間関係が作れるよう、相手に寄り添った話し方、聞き方で対話をしていこうと思いました。
- ・ 子ども、親、どちらかではなく、互いにを大切にしたい関わり方にたくさんのコツがあり、大変勉強になりました。学んだことを家庭に持ち帰り、子どもも親もハッピーになれるように、よい関係を作っていきたいと思います。
- ・ いつも自分の感情に任せて伝えてしまい後悔することが多いので、今後参考にしたいと思います。
- ・ 子どもの意見も聞いて、話し合いをすることも大事だと改めてわかりました。大屋さんが示してくださった「子どもを観る視点」は、本当に大切だと改めて思いました。資料も今後の参考にさせていただきます。